

※必ずお読みください

- 充電スタンドからイヤホンを取り外すとスリープが解除され、携帯電話と自動接続を試行します。
- 充電スタンドでの充電待ち受け
- 充電スタンドで充電中は、イヤホンはスリープ状態となりますので、着信があった場合でもイヤホンのLEDランプは点滅しません。着信は携帯電話の着信音や画面で確認していただく必要があります。
- 着信中にイヤホンを充電スタンドから取り外すとスリープ状態から自動的に復帰し、約10秒で携帯電話が自動接続されイヤホン側での通話や応答が可能となります。

※充電スタンドを使用する場合は、着信に音が付きイヤホンを取るまでの時間の余裕を取るために、留守番電話や転送電話などに移行する時に出し設定時間をなるべく長めに設定してください。

●イヤホンを充電スタンドにセットすると、終話になります。

▶シャープ製Android OS ver.10のスマートフォンで使用する場合は、充電スタンドを使った自動接続をせず、メインスイッチを一度押して終話してからスタンドに置いてください。

- スタンバイモード(自動接続完了または未接続)のイヤホンを充電スタンドにセットすると、イヤホンは一時的にスリープ状態になります。このため、イヤホンのLEDランプは赤点灯(電源オフで充電している場合と同じ表示)になり、携帯電話画面上のBluetooth接続表示(アイコンなど)も接続していない場合と同じ状態になります。

●充電スタンドからイヤホンを取り外すとスリープが解除され、携帯電話と自動接続を試行します。

・・・ 充電スタンドでの充電待ち受け

- 充電スタンドで充電中は、イヤホンはスリープ状態となりますので、着信があった場合でもイヤホンのLEDランプは点滅しません。着信は携帯電話の着信音や画面で確認していただく必要があります。

●着信中にイヤホンを充電スタンドから取り外すとスリープ状態から自動的に復帰し、約10秒で携帯電話が自動接続されイヤホン側での通話や応答が可能となります。

※充電スタンドを使用する場合は、着信に音が付きイヤホンを取るまでの時間の余裕を取るために、留守番電話や転送電話などに移行する時に出し設定時間をなるべく長めに設定してください。

●イヤホンを充電スタンドにセットすると、終話になります。

▶シャープ製Android OS ver.10のスマートフォンで使用する場合は、充電スタンドを使った自動接続をせず、メインスイッチを一度押して終話してからスタンドに置いてください。

12トラブルシューティング

●故障かなと思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目を確認してください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索(サーチ)しても[BTE17X]が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。

対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- ②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- 上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから[BTE17X]を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。
- それでも解消されない場合は、本書の(9.リセット)の項目をお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンの充電池が十分に充電されていない可能性があります。
電源をオフにするとき赤/青交互点滅になる	イヤホンなどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後や、リセット直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモードにならない	メインスイッチを押す時の短押しが正しくありません。
ペアリングができない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所でも再度試してください。
ノイズ(「PIN」)がわからない	本製品のノイズは「0000」(ゼロを4つ)です。
通話、受信ができない	携帯電話機のBluetooth設定画面で接続状態かどうかをご確認ください。
	一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受信を選択すると、自動でBluetooth機能とつながらない設定が初期設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書で「Bluetooth」の項目を確認し、ペアリングのモードを「ペアリング」に変更し、約10秒以上スリープの状態にするか、着信ごとに本機のメインスイッチを約5秒長押しして、手動で携帯電話と接続する事をお試しください。
	着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信音消になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声で聞こえやすい機種があります。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が遅延しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。
	携帯電話との距離が離れすぎているか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、近くに電子レンジ、自動扉、電波塔などの無線を妨害する機器や設備などがないか確認してください。
音が聞こえない着信音が聞こえない	携帯電話をスリープの後ろポケットやバックパックに収納している場合など、携帯電話とイヤホンとの間に布や紙など、ノイズの原因となる場合があります。
	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。
	音量が小さくなっている可能性があります。音量を調整してください。
	通話中にメインスイッチを2秒間長押しすると、通話がイヤホンから携帯電話に切り替わっているの、で、イヤホンでの通話ができなくなります。再度メインスイッチを2秒長押しして戻してください。
イヤホンから発信ダイヤルできない	イヤホンの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。
イヤホンからリダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話機の発信履歴などから通話操作でリダイヤルしてください。
使用中に電源が切れる	HSP(イヤホンプロファイル)で接続している可能性があります。
	携帯電話と10m以上離れた場所で連続で約5分以上を充電モードに移行し、電源が自動的に切れる状態となります。その場合は充電モードをキャンセルし、充電作業が必要です。
	内蔵電池の寿命も考えられますが、一度イヤホンと接続機種のリセットをお試しください。
ペアリング成功後、自動接続されない携帯電話と接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
	本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
TVの音声や音楽が聞こえない	携帯電話側がSCMS-T対応かどうかご確認ください。携帯電話が対応していない場合、TV放送は聞けません。
	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているか確認してください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンとの適合を知りたい	Bluetooth規格の性質上、パソコン側のBluetooth機器がHSP(イヤホンプロファイル)に対応していれば接続と使用は可能ですが、細かい動作の確認は、OSやソフトウェアなどとの互換性が影響することから、弊社ではパソコン個別機種との適合の検証は行われていません。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、通話時間/スタンバイ時間が少いずつ短くなります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が短く短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤークリップ、イヤークリップが破損、紛失した	本製品に付属のイヤークリップ、イヤークリップは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
充電スタンド、USBケーブルが破損、紛失した	保証期間内の製造の不具合による初期不良品は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。
イヤホンがDC充電器(または充電スタンドで充電できない)	DC充電器がお車のアクセサリーキットに付属に差し込まれているか確認してください。充電スタンドにイヤホンにセットされているかご確認ください。正常にセットされていない場合、イヤホンのLEDはスリープモードになりましたら青点滅(電源ON)の状態のままになります。お車のエンジンがかかっている(またはACC)が確認してください。
	お車のバッテリーからのサージの発生により、車かDC充電器内のヒューズが切れている可能性があります。
マルチポイント接続ができない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続ができません。(Android系)
	Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話は、2台目として登録してください。
マルチポイント接続中着信音が聞こえない	マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中は、別の携帯電話に着信があっても着信音ではなくチャイムが聞こえます。
	→1音が聞こえない、着信音が聞こえないの項目もご確認ください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。

ラストナンバーリダイヤルする → (自動接続完了のスタンバイモード中) メインスイッチを短く2回押し

- 携帯電話を操作せずに、直前に発信した番号に再発信します。
- ※8

イヤホンから携帯電話への通話切り替え → (通話中) メインスイッチを2秒間長押し

- 通話が携帯電話へ切り替わります。その後の通話及び操作(終話など)は携帯電話にて行ってください。
- 携帯電話からイヤホンへの通話に戻す時は、同じように2秒長押しして、ビープ音が鳴ったら指を離してください。
- ※9

スマートフォンでないフューチャーフォンをお使いの携帯電話によっては、Bluetooth機器に通話を受け渡しできない機種があります。

※シャープ製の端末機器との接続では、端末側で「常にハンズフリー」設定をONにすると、イヤホンからの切り替え操作をしなくても良い場合があります。このように予めハンズフリー通話の設定を行っておくことで自動切換え可能になる機種もあります。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

マイクミュート/マイクミュート解除 → (通話中) VOL-キーを2秒長押し

- 会話中、VOL-を2秒間押ししてください。ビープ音が鳴るのでスイッチを離すと、こちらの音が相手に聞こえなくなります(LEDの点灯が3秒毎青2回の点滅の繰り返し)。
- マイクミュート中にもう一度VOL-約2秒長押しするとマイク機能がONになり、通常の通話に戻ります。
- ※9

音量調節 → ボリュームアップ(VOL+)キー/ボリュームダウン(VOL-)キーの操作

ボリュームアップ(VOL+)キーを押すと受話音量が上がります。ボリュームダウン(VOL-)キーを押すと受話音量が下がります。スイッチを押す時はゆっくり正確に押してください。接続機種によっては、素早く何回も押すと接続機器側の音量反映が遅れる場合があります。音量増減の段階は接続機種によって変わります。また、機種によってはこの操作で一番最大、最小の音量まで調整できない場合があります。※音量は接続している携帯電話機のBluetooth音量設定と連動します。

- ※1一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(自動接続完了)になります。(自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります。)

- ※2ペアリングが成功するとLEDランプが数回青点滅し、その後スタンバイモード(自動接続完了)になります。ペアリングモード中にペアリングが成功しない場合や、設定に失敗した場合は、スタンバイモード(未接続)になります。
- ※3携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は使用前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから[BTE17X]を削除し、イヤホンの電源を切って完全充電まで充電した後、再度ペアリングしてください。
- ※4イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話との接続が切れると、このモードになります。
- ※5イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残っております。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)
- ※6イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(通話ボタンを押すなど)して電話を受けることもできます(携帯電話本体での通話となりますので、その後通話をイヤホンに切り替えてください)。
- ※7イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。
- ※8HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作でリダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。
- ※9ビープ音が聞こえたら指を離してください。

・・・音楽再生やTV音声出力を楽しむ

- 音楽再生/TV音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ(A2DP)プロファイルにも接続してください(自動認識してペアリング時に接続する携帯電話機もあります)。
- 携帯電話の機種によっては、仕様ににより音楽再生及びTV音声出力時のボタン操作ができない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、音楽再生及びTV音声出力時の着信応答操作ができない場合があります。

機能(上図①～③の番号)	操作方法/説明
①再生/一時停止	(音楽/動画を起動した状態で) メインスイッチを短く1回押し
②送送り(チャンネル送り)	(再生中に) ボリュームアップ(VOL+)キーを約2秒間長押し
③曲の頭出し(チャンネル戻し)	(再生中に) ボリュームダウンキー(VOL-)を約2秒間長押し

- 音楽再生中の着信応答 …… 着信中にメインスイッチを短く1回押す (音楽は一時停止)

- 電話を切る(終話) …… 通話中にメインスイッチを短く1回押す (音楽再生またはTV視聴に戻ります。)

8 マルチポイント (2台同時待受け)

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。

・・・マルチポイントについて

※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話ではマルチポイント接続できない場合があります。

- 携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
- 2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
 - ①1台目の携帯電話(Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
 - ②携帯電話機の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
 - ③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
 - ④最初にペアリングした携帯電話のBluetooth設定をONにして再接続してください。
 - ⑤2台の携帯電話機のBluetooth設定(リスト)で本製品と接続状態になっているか確認してください。

※この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります。この時、ラストナンバーダイヤルは最後に接続した接続端末の最終発信履歴にのみ対応します。

※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにすると、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

・・・マルチポイント時の通話に関する操作

- マルチポイント-接続中(2台待ち受け時)は、どちらの携帯電話に着信があってもイヤホンから着信音が聞こえます。着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです(→「7.基本操作」参照)。
- マルチポイントでご使用になっている場合に両方の接続端末に受信があっても、本製品側の操作で接続の受け渡しや保留の動作はできません。携帯電話機側の画面で操作を行ってください。

9 リセット (イヤホン本体の初期化)

・・・リセットの手順

- 本製品をご使用中、接続が不安定になった時や、接続する携帯電話を変更した場合などは、本機を一度リセットしてお使いになることを推奨します。
- リセットすると工場出荷状態となり、イヤホンに登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。
- リセットは以下の手順で行ってください。
 - ①イヤホンの電源を一度OFFにします。
 - ②携帯電話機のBluetoothの項目を確認し、本機とのペアリング登録を手動で削除してください。

※接続機器から一度登録を消しておかないと、リセット後、再度同じ接続機種との再ペアリングモードでBTE17Xがリストアップされない場合があります。

③イヤホンの電源を入れた状態で、本機のメインスイッチ、VOL+キー、VOL-キーを同時に2秒間押し続けてください。ペアリングモードと同じ赤/青交互点滅状態になったら指を離してください。

④本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。工場出荷時と同じように自動でペアリングモードになりますので、改めてペアリング登録をしてください。

10 便利な機能

・・・ 充電池残量警告機能

●イヤホンの充電池残量が少なくなると、10秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「充電してください」と音声でお知らせし、イヤホンのLEDも5秒毎に赤が2回点滅します。そのまま使用を続けると電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

・・・ Siriを起動する (iOS5,1以上をインストールしたiPhone4s以上で対応) ※2021年3月現在

- スタンバイモード時にイヤホンのメインスイッチを約2秒長押しすると、ポンツというビープ音が聞こえるのですぐに指を離してください。iPhoneのSiri Appがハンズフリーで起動し、Siriを使っての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。起動した状態から終了させられない場合はもう一度メインスイッチを2秒長押ししてください。
- iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを2秒長押しすると、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。Siriが終了した場合は、音楽の一時停止が解除され再生を自動で開始します。
- ※マルチポイント時は1台目に接続したiPhoneでのみ、Siri起動が可能です。
- ※上記操作はiOS及びAPPのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

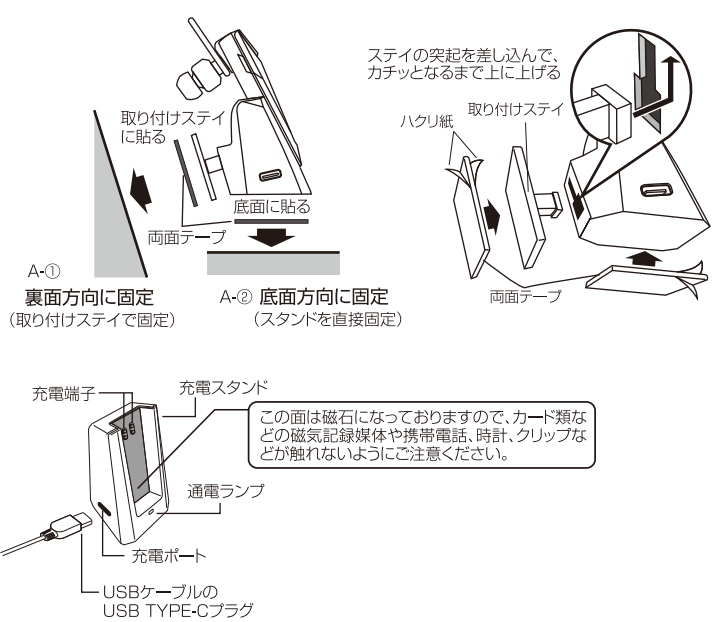
・・・ リンク切断後の再接続試行

- 接続中の接続機種とイヤホンが通信範囲(見通し約10m)から離れた場合「接続解除」の音声案内と共に接続が解除されます。その後約150秒以内に通信範囲内に戻れば、自動で再接続を試行し、成功すると「接続しました」の音声案内が聞こえます。
- 150秒以内に10m以内に戻っても自動で接続しない場合は、メインスイッチを1回押すと強制的に再接続を試みます。
- 10m以上離れた状態のままで連続で180秒が経過するとイヤホンの電源が自動で切れます。この場合はその後、10m以内に戻った時、イヤホンの電源を入れ直して再接続を行ってください。
- ※自動で再接続出来ない場合は、接続機器から再接続をしてください。

11 充電スタンド

・・・ 充電スタンドの準備

- 充電スタンドの設置は3通りの固定方法を選べます。
 - ①工場出荷時のまま、取り付けスライ裏面に両面テープを貼ることで、充電スタンドの裏面方向に固定できます(下図A-①)。
 - ②工場出荷時の充電スタンドから取り付けスライを取り外し、充電スタンドの底面に直接両面テープを貼ることで、充電スタンドの底面方向に立てて固定できます(下図A-②)。
 - ③ご家庭や仕事場でお使いになる場合、そのままデスクの上に置いて使用する。
- 両面テープを使って固定する場合は予め以下の点にご注意ください。
 - 貼り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
 - 取り付けスライに充電スタンドを一度取り付け、イヤホン/イヤークリップ、イヤークリップを充電スタンドに乗せた状態で、設置位置を決めてください。
 - イヤホンの脱着の動作で操作(パワーシャフトリバー)などに当たらない位置を探ってください。
 - 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けて取り付けてください。また、真夏の炎天下等直後の貼り付け面が高温になり過ぎていたり接着力が得られない場合があります。
- 取り付けスライを介して両面テープを貼る場合は、両面テープの片面のワリ紙をはがして取り付けスライにしっかりと貼り付けてください。その後車の固定場所に充電スタンドと取り付けスライをしっかりと貼り付けてください。
- ※粘着テープ貼り付け後は十分な粘着力を得るために24時間放置してください。
- ※製品または充電スタンドが落下しないよう、運転の朝にしっかりと取り付けられているかご確認の上、ご使用ください(落下による事故、本製品の破損に関しては、弊社は一切の責任を負えません)。
- 充電スタンド左側面のポート部に、USBケーブルのUSB TYPE-C充電プラグを接続してください。



・・・ 充電スタンドでの充電

- 充電スタンドに通信されない状態では、通電ランプが青点灯します。
- イヤホンを充電スタンドにセットすると、イヤホンのLEDが赤点灯して充電が開始されます(イヤホンと充電スタンドの接続端子を確実に接続してください)。
- ※充電しながら充電スタンドからイヤホンを脱着する動作を必要以上頻繁に繰り返すと、内蔵充電電池の劣化を早めやすのでご注意ください。
- ※充電スタンドで充電する際はイヤホンの内蔵充電電池の劣化を抑えるために、充電スタンドにイヤホンをセットした直後は実際の充電を一旦保留する自動電池保護機能が搭載されています。充電スタンドにイヤホンをセットして数分間経過後、充電が必要と判断された場合は実際の充電を開始します。

・・・ 充電スタンドのご使用に際して

- 充電スタンド充電時、充電スタンドとイヤホン本体の充電接点に汚れがあったり、充電スタンドにセットした時に充電端子位置がずれてしまうと接続不良が起こり、自動受話機能や自動終話機能が動作しなかったり、着信時に携帯電話側から着信音が聞けないなどの現象が起きてしまいます。その場合は、充電接点がずれないよう、イヤホンを充電スタンドにセットしなおしてください。それでも解消されない場合は、両方の充電端子を乾いた布で拭いて掃除してください。